

令和2年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
 (Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)
 事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 豊川市 】
令和2年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>不就学の外国人の子供に対する日本語・教科指導、学習習慣の確保に係る指導のための教室の開設 教室名:豊川市こぎつね教室(平成24年11月に常設の教室として設置)。 場 所:豊川市諏訪3-300 豊川市プリオビル 5F 開室期間:土、日及び年末年始を除く、月曜日から金曜日まで 職 員:コーディネーター兼指導員1名 日本語指導員4名 送迎運転手1名 ボランティア:約6名(1日1名程度)</p> <p>対 象:外国にルーツのある小中学校相当の子供・小学校入学まで6箇月以内の子供に対して日本語指導及び教科指導を実施。</p> <p>在籍者数:72名(今年度入室47名、昨年度からの継続25名)</p>
<p>2. 具体の取組内容</p> <p>教室には常時20名程の児童・生徒が在籍。基本的には小学生と中学生、小学校入学前の子供のグループに分け、それぞれのグループで1名の指導員が授業を行いました。無償ボランティアが指導補助に入る場合に、必要に応じて個別指導も行いました。授業内容としては、小学生や小学校入学前の子供らは初期の日本語指導が主であり、平仮名・カタカナの読み書き、日常で使用する語彙集を指導計画に沿って進めました。中学生らは、それより発展し、日本語文法の理解や運用、日常会話の習得に力を入れました。</p> <p>地域社会との交流としては、地元農家等の協力を得て、6月のさつまいもの苗植えから10月中旬の収穫体験までを行い、貴重な体験となりました。</p> <p>12月には、お楽しみ会で地元のゆるキャラと交流をし、自分の暮らす街への親近感を育みました。その他には、4月のお花見、7月の七夕、2月の節分等、日本の行事に関する活動を行ったりしました。</p>
<p>3. 成果と課題</p> <p>成果として、今年度在籍者数72名(昨年度からの継続は25名)のうち、教室入室時に不就学であった児童生徒を全員市内の小中学校に入学させることができました(令和3年4月入学予定の児童生徒も含む)。入学した児童生徒らは、必要に応じて継続して午後からはこぎつね教室で学ばせ、学校生活で適応ができるようになるまで指導を行いました。入学後は、必要に応じて学校に訪問や連絡をするなどし、日本語指導だけでなく、気持ちの面でもフォローできるよう配慮しました。結果、教室卒室後、保護者の都合で市外等へ転出した者を除いては、児童生徒らは各学校で適応し、通学を続けています。</p> <p>学習成果では、入室時に日本語が全く分からない、知らないというゼロレベルだった児童生徒は在籍者72名中60名でしたが、指導により学校で適応できるまでになりました。児童生徒らの学年や個人差はあるものの、平仮名・片仮名の読み書きから漢字、簡単な日常会話へと学習を進めていくことができ、多くの児童生徒が無事にこぎつね教室を卒室することができました。</p> <p>また各学校から、多くの外国人児童生徒が計算を苦手としているという声を耳にすることから、昨年度に引き続き今年度も教室の休憩時間10分のうちの5分ほどを活用し、各児童生徒のレベルにあった計算問題</p>

に取り組む「さんすうの時間」を実施しました。効果は着実に出ており、少しでも早く学校生活に順応できるよう、今後も続けていきたいと考えています。

今年度は新型コロナウイルスの影響による日本への入国制限があり、昨年度までのような児童生徒数の急増はありませんでした。その分、1人1人により充実した指導を行ったり、入学前の子供を大勢受け入れることができました。教室所属はブラジル国籍並びに南米系の子供がほとんどですが、フィリピン・ベトナム・中国など、アジア圏を中心とし、多国籍化しつつあります。

新型コロナウイルス解消の際は、これまでのように来日する外国人の増加が予想され、効率よく多くの子供を指導する体制を整える必要があります。また、集団授業ができないような状況下になっても、教室を休むことなく授業を行えるような仕組みを整える必要があります。

4. その他(今後の取組等)

前述の課題に対して、時間割編成やカリキュラムの見直し等を随時行い、指導体制の強化・適正化・効率化等を図る予定です。また教室に来訪しなくても授業が行えるように、オンラインで授業を行う体制も整えました。

今後も引き続き、教育委員会や市内小中学校の外国人指導助手、外国人児童生徒担当教諭、保護者との連絡調整を密に図り、児童生徒のスムーズな入卒室に努めていきます。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。